

2022年1月中旬

一粒書房 新刊のご案内

小説／文芸書
ご担当者様

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1
TEL:0569-21-2130
Mail: book@ichiryusha.com

C L U S T E R

クラスター 五輪の夏の墓標

四六版・上製本／312頁／定価：1870円(本体1700円+税)

村澤武彦[著]



《目次より》

第一章	予	感
第二章	緊	迫
第三章	小	康
第四章	激	震
第五章	絶	望
第六章	余	震
第七章	再	生
最終章	墓	標

新型コロナの大規模クラスターの姿を描いた迫真の医療小説です。第6波を前に緊急出版します。当作品を超える新型コロナ小説は恐らく稀で、医療関係者だけでなく、マスコミや行政からも大きな注目を集める作品と思います。既に多くの医療関係者やジャーナリストが驚きの読後感を伝えてくれています。

令和3年1月に第三波が全国を襲いました。当時はワクチンも治療法もなく、最も死亡率が高く現場が大混乱に陥ったのが第三波でした。国民も自粛要請に耐え、政府や自治体や保健所も医療と連携を図りつつ必死の対策を行いました。

ほとんど報道されませんでした。第三波では全国で多くの高齢者施設や透析施設でクラスターが次々に発生し、多くの犠牲者が出ました。それに必死に逃げずに対応したのが介護士や透析従事者達で、自身も感染し入院するまで現場を離れることが出来ませんでした。凄まじい現場の知られざる努力でした。

クラスターという言葉が国民全てが知っていますが、ほとんどの医療関係者を含め、政府や自治体やマスコミもその実態を内部まで知る人は限られます。

著者は、小説の舞台にもなった透析施設や介護施設の医療に係り、新型コロナ関連で度々マスコミ取材を受け、自治体の対策本部でのレクチャーを要請され、最初から深く関わり悲慘なクラスターの実態を詳しく知る現場の内科医です。

【著者紹介】村澤武彦（むらさわ たけひこ）

本作品が小説デビュー作。医学論文、最近では特に透析医療や介護関係の論文多数。同領域での医学賞も受賞。国立大学医学部卒。大学病院や公立病院での勤務を経て現在内科開業医。ペンシルベニア大学研究員時代に、新型コロナワクチン主要開発者のカリコ博士に招かれ研究室を訪問(1992年)。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：一粒書房 TEL.0569-21-2130
			村澤武彦[著] クラスター 五輪の夏の墓標 四六版・上製本／312頁 定価：1870円(本体1700円+税)
			冊 ISBN978-4-86743-057-6 C0093 ¥1700E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い